

V シカ等野生動物保護管理

<主要施策の取組状況>

1 自然植生回復地域（ブナ林等）での密度低減と定着の解消

① **重点**高標高域におけるシカの捕獲（Ⅰ-2-④）

- ・ 県猟友会への委託及びワイルドライフレンジャーによる管理捕獲を実施した結果、丹沢山地の中央部や県境部、猟区に隣接するエリアなど、シカが高密度で生息する地域の捕獲が進んだ。〔山地域の生息環境管理目的の管理捕獲と合わせて、H28 実績：521 頭〕
- ・ 第一期計画に続き、区画法による生息密度調査、糞塊法による生息動向調査、捕獲個体の分析調査等を行い、シカの生息密度等を把握した。（生息環境管理地域（山地域の人工林・二次林等）も含む）
- ・ 56 地点中 12 地点の調査地で植生保護柵内外の定点植生調査を行い、シカの捕獲が植生へ及ぼす影響について調査を行った。（生息環境管理地域（山地域の人工林・二次林等）も含む）

② 植生保護柵等の効果的な設置（Ⅰ-3-⑥、Ⅳ-2-⑤）

- ・ 林床植生衰退地（相模原市緑区青根：神ノ川熊笹ノ峰線）において植生保護柵を主な工種とする土壌保全工を実施し、土壌流出の防止を図った。〔H28 実績：10.62ha〕

2 生息環境管理地域（人工林・二次林等）での森林整備と連携したシカ保護管理の実施

③ **重点**森林整備と連携したシカ保護管理（Ⅱ-2-③）

- ・ 水源の森林づくり事業など森林整備に関する情報共有を行い、水源林整備地を中心に県猟友会等による管理捕獲を実施するなど、森林整備と連携したシカ管理を推進した。〔奥山域の自然植生回復目的の管理捕獲と合わせて、H28 実績：521 頭〕。
- ・ 森林整備と管理捕獲の効果を検証するために、11 地点で植生や更新木等を調査するとともに、調査地に自動撮影カメラを設置し、シカの出現状況を調査した。この結果、全体として植生の顕著な変化は現われておらず、全ての地点でシカが優占種であった。

④ **FS**生息環境整備モデル事業

- ・ 適切な森林整備とシカ管理の連携モデルを構築するため、県有林内等の森林整備が行われた場所で、管理捕獲を実施するとともに、生息密度や植生定点調査、捕獲個体の計測及び切歯の摩滅状態等による分析を行った。

3 被害防除対策地域（山ろく・集落等）でのシカの計画的捕獲と被害対策

⑤ シカの定着解消のための個体数調整（Ⅲ-1-①）

- ・ 市町村や団体（市町村協議会）が実施する鳥獣被害対策への財政的支援として、シカ等の管理捕獲や広域獣害防護柵の新設や補修、捕獲わなの購入等にかかる費用を助成した。〔里山域の被害軽減目的の管理捕獲頭数（市町村等実施）：シカ 1,392 頭〕
- ・ 丹沢山地に係る地域県政総合センター（県央、湘南、県西）に鳥獣被害防除対策専

門員を計5名配置し、住民等へ鳥獣の生態や被害対策等について情報提供や助言・指導を行った。

- ・ 県の環境部門と農政部門からなる鳥獣被害対策支援チームにより、地域自らが継続的・計画的に被害対策を推進する仕組み作りを支援した。

⑥ 防護柵の設置の推進（Ⅲ-1-①）

- ・ ⑤と一体で実施した。

4 野生動物の保護管理

⑦ **重点** ワイルドライフレンジャーの配置

- ・ 自然環境保全センターに配置したワイルドライフレンジャー〔H28 年度末 5名〕により、主稜線部の捕獲や捕獲困難地でのシカ捕獲等を実施した。

⑧ 地域が主体の野生動物被害対策の取り組み促進（Ⅲ-1-①）

- ・ 野生動物(ツキノワグマ等)の被害対策として、伊勢原市大山・子易地区において、地域住民による耕作放棄地や農地周辺の林地との境界部における森林整備や自動撮影カメラの保守等に対する支援を行い、地域主体の取組が促進されるとともに地域と行政の連携が図られた。

⑨ **FS** 野生動物保護管理手法の検討

- ・ 森林整備地周辺で生体捕獲したシカへGPS 発信機付首輪を装着し〔新規2頭〕、行動特性の調査などを行った結果、定住型、季節移動型、往復移動型などの移動パターンが確認されるとともに、季節的な生息環境の変化に伴い集中しやすい場所があることなどが判明した。
- ・ ニホンジカ保護管理検討委員会において、ニホンジカの調査、モニタリング、管理手法について、科学的な視点で検討した。
- ・ ニホンザル等について生息状況調査などのモニタリングを実施し、野生動物保護管理検討の材料とした。
- ・ ツキノワグマの学習放獣及び捕獲個体の計測調査を行い、ツキノワグマの保護管理について検討を進めた。

○ニホンジカ捕獲実施状況（H28）

単位：頭、（）内はメスの内数

自然植生回復目的 管理捕獲（森林整備地込み）	農林業被害軽減目的 管理捕獲	狩猟	合計
521(297)	1,392(776)	740(398)	2,653(1,471)

○ニホンジカモニタリング実施状況（H28）

生息状況	生息環境
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区画法による生息密度調査 ・ 捕獲効率の算出による調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糞塊法による生息動向調査 ・ GPS 首輪を用いた行動域調査 ・ 植生定点調査

